

## 福井の伝統的民家活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/2等											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 4 安心を高める(地域力) ] 政策 [ 15 ふるさとの暮らしと風景の維持 ]				関連する県の計画等							
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>伝統的民家の価値を所有者自身が分からないこと、保存して住み続けるためには改修費用が大きいことから、伝統的民家の取り壊しが進行。観光客や移住者を呼び込む、地域の歴史・個性を生かしたまちづくりのためには、伝統的民家を保存し、個性ある美しい集落や町並み景観の維持・保全が必要。</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>福井の伝統的民家の保存および活用を推進し、市町が実施する伝統的民家や蔵などが集積する街並み景観の保全・活用に資する事業を支援することにより集落景観のレベルアップを図り、地域の個性に合った街並みづくりを推進する。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 伝統的民家群保存活用推進地区(以下、推進地区)内での景観づくりに対する補助</p> <p>① 伝統的民家の新築 外観の工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内(限度額800千円)</p> <p>② 伝統的民家や土蔵、門、塀の改修 外観、構造体の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内(限度額1,500千円)</p> <p>③ 一般建造物の修景 外観を街並みに調和させる工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内(限度額1,000千円)</p> <p>④ 伝統的民家の空き家の活用 外観、構造体および内部の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内(限度額3,000千円)</p> <p>⑤ 景観づくり活動 街並みを活かした景観保全・景観づくり活動に補助する市町に対し、市町補助額の10/10(限度額200千円 地区指定後2年間のみ)</p> <p>(2) ふくい棟梁講座(伝統工法の実技実習および講習)の支援(一社)福井県建築組合連合会 対象経費の1/2以内(限度額500千円)</p> <p>(3) 福井の伝統的民家認定表札加工および普及PRリーフレット作成</p> <p>(4) 福井の伝統的民家の普及啓発活動(日常の維持管理に関する講習会の開催)</p>												
[受益者] 伝統的民家所有者等						[想定される受益者数] 約5,400棟(県内の伝統的民家数)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担					<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井の歴史的建造物保存促進事業 他 (役割分担) ・福井の歴史的建造物保存促進事業 ・福井の歴史的建造物の改修等に対する支援 ・重要伝統的建造物群保存地区整備事業 ・重要伝統的建造物群保存地区に選定された地区内の建造物整備に対する支援 ・指定文化財保存修理等補助金 ・指定文化財の修理に対する支援	
市町との連携状況	・市町が改修等を希望する所有者から申請を受ける ・県は、伝統的民家の改修等を支援する市町に対し補助を実施					他県の状況					石川県、富山県はなし  [新潟県] ふるさと古民家再生事業 築後概ね50年経過した住宅の再生に係る設計及び工事管理に要する費用に対して、1/2を補助(1,000千円限度) (~H29まで実施)	

## 福井の伝統的民家活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治			
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1/2等													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	21,190				21,190									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		29,731	29,231	23,790	23,390	21,190	伝統的民家が集積し、景観づくりへの意識が高い地区を重点的に支援する観点から、推進地区内のみを支援に切り替える。							
2月現計予算額の推移		17,874	18,061	13,010	17,334									
決算額の推移		17,045	16,599	12,508										
前年度までの 主な増減理由	伝統的民家の改修等の件数は年々減少傾向にあり、過去実績に合わせて事業費を減額													
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	改修等事業件数	(目標) (25)	(25)	(22)	(22)	(20)	(20)	(20)	20件/年の改修					
		実績 16	19	15										
活動指標	推進地区指定数	(目標) (4)	(4)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	2地区/年の指定					
		実績 4	4	2										
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統的民家の改修等を15件支援 (R1)</li> <li>・ 伝統的民家保存活用推進地区を2件指定 (R1)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年度は市町要望よりも、実際の補助申請件数が少なかったが、過去5年の実績から年20件分の改修費用を計上。</li> <li>・ 令和3年度からは推進地区内のみを支援に切り替え。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

# 福井の歴史的建造物保存促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	市町				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2等											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 4 安心を高める(地域力) ] 政策 [ 15 ふるさとの暮らしと風景の維持 ]				関連する県の計画等		[ ]					
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>地域の風景を維持し、観光客や移住者を呼び込む、地域の歴史・個性を生かしたまちづくりのためには、地域の核となる歴史的建造物を保存・活用することが必要</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>市町が実施する歴史的建造物の改修補助事業に対し支援を行い、歴史的建造物の保存およびまちづくりへの活用を促進する。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 歴史的建造物のうち登録有形文化財建造物 外観および公開範囲の内装に関わる部位の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費から国費補助相当額を差し引いた額の1/2以内(補助限度額1,500千円)を補助</p> <p>(2) 上記以外の歴史的建造物(指定文化財を除く) 外観の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内(補助限度額1,500千円)を補助</p> <p>【福井の歴史的建造物とは】 (平成16年度に1,915件の建造物を調査し、内485件を「福井の歴史的建造物」として紹介) 原則として第二次世界大戦終結時までに建造され、下記の①～④のいずれかに該当するもので、県が歴史的建造物等活用推進会議の意見を踏まえ、ふるさとの象徴として保存継承していく価値があると認める建造物。ただし、指定文化財を除く。 ①地域の歴史を象徴するもの ②建築文化や生活文化を継承するもの ③民俗学的に価値のあるもの ④街並みおよび景観の整備に貢献するもの</p>												
[受益者] 歴史的建造物所有者(管理者)						[想定される受益者数] 485棟(福井の歴史的建造物)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井の伝統的民家活用推進事業 他 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町が改修等を希望する所有者から申請を受ける ・県は、歴史的建造物の改修等を支援する市町に対し補助を実施					他県の状況	石川県、富山県はなし [佐賀県] 佐賀県遺産支援事業 佐賀県遺産に認定された建造物の外観保全に対し、対象経費1/2を補助(5,000千円限度)					

## 福井の歴史的建造物保存促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治			
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H17 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金		□ その他			経過年数
補助率	1/2等													17 年
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,500					2,500								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		3,058	3,058	3,058	3,058	2,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去の実績に合わせて補助事業費を減額</li> <li>・ 審査会経費を削減</li> </ul>							
2月現計予算額の推移		2,365	58	283	58									
決算額の推移		2,360	43	259										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	改修等事業件数 (目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	2件/年の改修					
	実績	2	0	1										
活動指標	補助事業者数 (目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	2件市町/年の改修					
	実績	2	0	1										
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改修実績1件 (R1)</li> </ul>								<input type="checkbox"/> 拡充	■ 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 58			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 福井ふるさと百景活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体		県、市町、景観づくり活動団体			事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10、1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野	[ 安心を高める(地域力) ]			関連する県の計画等		[ ]				
[解決すべき問題・課題]												
福井には美しい景観が数多くあるが、それらを守っていく地域の担い手不足や資金不足等で、景観づくりが低迷している。												
[事業目的]												
福井の美しい景観を守り伝えていくために、「福井ふるさと百景」を活用し、地域団体が進める景観づくり活動を支援するなど、地域とともに景観づくりを推進する。												
[事業内容]												
<p>(1) 景観づくり活動団体に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 百景選定地におけるふるさと景観を守り育てていく景観づくり活動団体を支援する市町に対し補助</li> <li>・ 景観づくりのコーディネート業務等を実践でき、広域的に活動する景観づくり団体に対し補助</li> </ul> <p>【補助率】10/10(補助上限額 200千円/年) 【事業期間】2年間  【補助対象】地域団体(町並みを活かした花植えや夜間景観の演出などの景観づくり活動)</p> <p>(2) ビューポイント整備を実施する市町に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 百景選定地の絶景ポイントや町並みなどを眺望できるビューポイント整備を行う市町に対し補助</li> </ul> <p>【補助率】1/2(補助上限額 1,000千円/箇所) 【補助対象】市町</p> <p>(3) ふるさと福井景観づくり懇談会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学識経験者、県民代表等で組織する「ふるさと福井景観づくり懇談会」を開催</li> </ul>												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担			<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井ふるさと広域景観形成事業 (役割分担)			
市町との連携状況	活動団体は市町に申請を行い、県は市町を通して補助を実施					他県の状況			<input type="checkbox"/> 普及・啓発 石川県・・・いしかわ景観大賞、俳句大会、景観教室、絵画コンクール、白山眺望スポットガイド作成、いしかわ景観づくりガイドブック作成 富山県・・・景観づくりフォーラムの開催、うるおい環境とやま賞、「ふるさと眺望点」の指定 <input type="checkbox"/> 審査会等 石川県、富山県・・・景観審議会を設置			

# 福井ふるさと百景活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治		
事業主体	県、市町、景観づくり活動団体				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R7 年度	
事業実施方法	直営、補助									経過年数			11 年
補助率	10/10、1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,120			(諸) 1,000	2,120	ふるさと百景ガイドブック売上 1,000千円							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		3,804	3,487	4,690	3,606	3,120	・ 景観づくりミーティング経費の削減						
2月現計予算額の推移		3,804	2,637	4,690	2,139								
決算額の推移		3,496	2,398	4,526									
前年度までの主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30年度は、景観セミナー休止による減</li> <li>・ 元年度は、福井ふるさと百景ガイドブック作成のため増</li> </ul>											
[成果指標等の推移]													
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	新たな景観づくり活動に取り組む団体数 (目標) 実績	(5) 5	(4) 4	(4) 3	(4)	(4)	(4)	(4)	景観づくり団体認定4団体/年				
活動指標	ビューポイント整備箇所数 (目標) 実績	(2) 2	(2) 1	(0) 0	(1)	(1)	(1)	(1)	ビューポイント整備1件/年				
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
・ 景観づくり団体を新た35団体認定 (R1)				・ 景観づくりミーティング経費を削減した。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 227		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 福井ふるさと広域景観形成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内宏治								
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度							
事業実施方法	補助																		
補助率	1/2																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 安心を高める ]	政策 [ ふるさとの暮らしと風景の維持 ]				関連する県の計画等													
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>景観づくりについては、各市町において行っているが、市町をまたぐ広域的な景観資源については県が主導して保全・活用を行う必要がる。</p>																			
<p>[事業目的]</p> <p>豊かな自然や歴史、文化等、特徴ある福井らしい景観資源が集積し、優先的な景観施策の実施が望まれる6つの景観軸において、市町が行う景観形成を支援する。</p>																			
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 景観づくり・保全事業を実施する市町等に対する補助  <b>【事業内容】</b> 県と構成市町が協議しながら、市町が進める視点場整備、植樹・植栽などの景観づくり事業や現在の景観をよりよく保全するために必要なハード事業を支援する。  <b>【補助率】</b> 対象経費から国庫補助相当額を差し引いた額の1/2  <b>【補助上限額】</b> 25,000千円/軸</p> <p>(2) 重要文化的景観魅力発信事業  <b>【事業内容】</b> 福井市・越前町・南越前町が主体となり立ち上げる「越前海岸の水仙畑の文化的景観」に関する協議会による魅力発信事業を支援する。  <b>【補助率】</b> 対象経費から国庫補助相当額を差し引いた額の1/2</p>																			
[受益者]						[想定される受益者数]													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井ふるさと百景活用推進事業 (役割分担)  福井ふるさと百景選定地の景観を地域の力で守り育てていく景観づくり活動団体等を支援												
市町との連携状況	・ 県と構成市町が内容等を協議し、事業を推進					他県の状況	・ 静岡県・・・「新静岡県景観形成ガイドプラン」 9エリアの広域景観を設定、順次景観協議会を設立し、行動計画を作成、景観施策を実施  ・ 石川県・・・「いしかわ景観総合計画および眺望計画」 白山の眺望景観の保全 (建築物・工作物の高さ制限、色彩およびデザインの制限)												

## 福井ふるさと広域景観形成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内宏治					
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	1/2															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	14,065				14,065											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		13,220	24,213	16,726	32,176	14,065	・各景観軸における事業計画に基づく減額									
2月現計予算額の推移		8,201	22,644	14,901	21,476											
決算額の推移		8,168	22,204	14,448												
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・29年度は、文化的景観保存調査（国庫補助）の実施による増。</li> <li>・30年度は、景観づくり・保全事業（2景観軸）の実施による増。</li> <li>・令和元年度は、1箇所当たりの事業費が減となったため。</li> <li>・令和2年度は、1箇所当たりの事業費が増となったため。</li> </ul>														
[成果指標等の推移]																
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	広域景観軸での事業実施 軸数		(2) 実績 2	(4) 実績 4	(6)	(5)	(6)	(6)	事業計画をもとに事業実施							
活動指標	広域景観軸での事業計画 策定件数	(2) 実績 2	(3) 実績 3	(1) 実績 1	—	—	(6)	(6)	市町と内容等を協議し事業計画策定							
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6つの景観軸において、景観づくり・保全事業を実施</li> <li>・越前海岸の水仙畑について、国の重要文化的景観に選定</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の重要文化的景観に選定を受け、現地の案内板や視点場の整備、福井市・越前町・南越前町が立ち上げる協議会の魅力発信事業について支援</li> </ul>				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

## 芸術団体文化活動活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治				
事業主体	(一社) 福井県文化協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業開始年度	S47 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	補助								□ 法定受託事務	■ 補助金			□ その他	経過年数	50 年
補助率	定額														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ ] 政策 [ ]				関連する県の計画等		[ ]								
[解決すべき問題・課題]															
<p>県民一人ひとりが文化活動に積極的に参加できる環境を整備し、芸術文化に親しむ機会を拡充するためには、地域の文化団体の活動を活性化することが不可欠。芸術文化活動団体を育成し、芸術文化の振興を図るとともに、各文化団体が実践する地域文化活動普及に資する取り組みを支援する必要がある。</p>															
[事業目的]															
<p>芸術文化活動団体を育成し芸術文化の振興を図るとともに、各文化団体が実践する地域文化活動普及に資する取組みを支援することにより、地域文化の掘り起こしや新たな文化創造を図る。</p>															
[事業内容]															
<p>(一社) 福井県文化協議会とその会員団体が共催する事業費に対し補助            (1) 補助対象者 (一社) 福井県文化協議会            (2) 補助対象事業 基本事業および奨励事業を併せて実施する事業                ①基本事業                営利を目的とせず、全県的な視野に立ち、定期的または継続的に行われる、美術、舞踊、演劇、文学等の大会、展示会、コンクール開催、出版事業等                ②奨励事業                県民文化の保存継承、相互交流、文化創造を目的とし、広く県民が参加できるように行われる、体験教室、鑑賞教室、講習会等            (3) 補助率 定額</p>															
[受益者]						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 芸術文化活動推進事業、ふくい県民総合文化祭開催事業 (役割分担) ・芸術文化活動推進事業 県内の芸術団体の実施する国内外の団体等との交流促進事業等への補助 ・ふくい県民総合文化祭開催事業 県域で活動する団体の発表等の事業への補助								
市町との連携状況	—					他県の状況	<b>【石川県】</b> ・文化活動支援事業 (いしかわ県民文化振興基金) 文化活動団体への助成  <b>【富山県】</b> ・富山県芸術文化振興基金事業 文化活動団体への助成								

## 芸術団体文化活動活性化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治					
事業主体	(一社) 福井県文化協議会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	S47 年度 経過年数 50 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	定額															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	3,600				3,600											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		3,600	3,600	3,600	3,600	3,600										
2月現計予算額の推移		3,600	3,600	3,600	3,600											
決算額の推移		3,600	3,600	3,536												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	奨励事業の実施件数	(目標) (63)	(63)	(63)	(63)	(63)			全ての補助対象団体で奨励事業を実施							
	実績	62	65	63												
活動指標	補助対象事業数	(目標) (63)	(63)	(63)	(63)	(63)			補助対象63団体/年							
	実績	62	65	63												
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価								
・ 成果指数、活動指数ともに目標達成								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

## 芸術文化活動推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治		
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H7 年度 経過年数 27 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	—												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ ] 政策 [ ]				関連する県の計画等		[ ]						
[解決すべき問題・課題]													
<p>新型コロナの影響でイベント中止などが相次ぎ、地域に根ざした芸術文化活動に親しむ機会が激減した 地域の文化資源を活用し、ふくいの芸術文化を発信するために、県内芸術文化団体を支援する必要がある</p>													
[事業目的]													
<p>県内の芸術文化活動団体等が独自に企画運営する創造的または文化的な活動を支援するとともに、ふくいの芸術文化の担い手を育成し、本県の芸術文化の振興を図る。</p>													
[事業内容]													
<p>下記の補助事業を外部機関に委託 文化芸術の振興に寄与する事業や活動に要する事業費に対し補助 (1) 補助対象者 県内を活動の本拠地として各地で活動する団体 (2) 補助対象事業 ①地域文化創造支援事業※1・・・地域文化資源を活かしてふくい文化を創造する新たなまちづくりを支援（補助上限 800千円/団体） ②ふくいの文化発信・交流支援事業 ア 国内外の芸術文化活動団体等との交流促進※2・・・全国または世界にアピールできる芸術文化事業を支援 （補助上限 全国的:500千円/団体 国際的:1,000千円/団体） イ 全国へのふくいの文化発信・・・国民文化祭への参加を支援（補助上限 150千円/団体（交通費 7千円/人）） ③次世代育成活動支援事業・・・次世代の文化・芸術活動を担うリーダーの育成につながる事業等を支援（補助上限 300千円/団体） ※①から③の事業において、「withコロナ時代」の新しい文化芸術の鑑賞スタイルのひとつとして、新たに屋外公演に取り組む場合は、 補助上限額を500千円上乘せ (3) 補助率 1/2</p>													
[受益者] 芸術文化活動団体および地域住民						[想定される受益者数] 100,063人（R元年度実績）							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担			<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 芸術団体文化活動活性化事業、ふくい県民総合文化祭開催事業 (役割分担) ・芸術団体文化活動活性化事業 (一社)福井県文化協議会とその会員団体が共催する事業への補助 ・ふくい県民総合文化祭開催事業 県域で活動する団体の発表等の事業への補助				
市町との連携状況	—					他県の状況			【石川県】 ・文化活動支援事業（いしかわ県民文化振興基金） 文化活動団体への助成  【富山県】 ・富山県芸術文化振興基金事業 文化活動団体への助成				

## 芸術文化活動推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 H7 年度 経過年数 27 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,800				7,800							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		8,300	6,700	6,300	6,300	7,800	補助対象事業の条件を満たし、「withコロナ時代」の新しい文化芸術の鑑賞スタイルのひとつとして、新たに屋外公演に取り組む場合に、補助上限額を500千円上乘せ					
2月現計予算額の推移		7,159	6,700	6,300	6,144							
決算額の推移		6,787	6,694	5,975								
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 28年度は、ふくい風花随筆文学賞への支援1,450千円および事業採択に係る評価委員会開催経費105千円を廃止</li> <li>・ 30年度は、補助事業実施団体数の見直し</li> </ul>											
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	芸術文化活動に参加した 県民の数 (目標)	(60,000)	(60,000)	(60,000)	(60,000)	(60,000)	(60,000)	(60,000)				
	実績	65,975	62,401	100,063								
活動指標	事業採択数 (目標)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	事業採択数20件			
	実績	17	18	21								
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナの影響で、1団体が事業縮小（補助額減）</li> <li>・ 新規事業の応募が増えたため、活動目標は達成した</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「withコロナ時代」の新しい文化芸術の鑑賞スタイルのひとつとして、新たに屋外公演に取り組む場合に補助上限額を500千円上乘せすることとした。</li> </ul>				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

# フレンドリーアート推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H15 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 文化・スポーツがふくいの活力 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]												
嶺北にある文化施設へ来場しようとする、嶺南在住の方の利便性向上												
[事業目的]												
嶺北にある文化施設へ来場しようとする、嶺南在住の方の利便性向上を図ることで、嶺南・嶺北の文化交流の機会を拡大する。												
[事業内容]												
嶺南地域の各市町を經由し、各文化施設へ向かう無料送迎バス「フレンドリーアート号」を運行する。 (年間 13 便)												
(1) 乗降場所(嶺南6市町8か所) ①JR若狭高浜駅(高浜町) ②おおい町役場(おおい町) ③若狭歴史博物館(小浜市) ④上中庁舎(若狭町) ⑤三方庁舎(若狭町) ⑥美浜町役場(美浜町) ⑦敦賀合同庁舎(敦賀市) ⑧JR敦賀駅(敦賀市)												
(2) 訪問文化施設 ①県立音楽堂 ②県立美術館 ③県立歴史博物館 ④一乗谷朝倉氏遺跡資料館 ⑤県立恐竜博物館 など												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	—					他県の状況	—					

# フレンドリーアート推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H15 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,283				1,283							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		1,636	1,636	1,330	1,426	1,283	・実績に基づく事業費の減額					
2月現計予算額の推移		1,636	1,636	1,330	1,426							
決算額の推移		1,229	1,636	1,096								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度は、移動美術館のスクラップのため、減額</li> <li>・平成29年度は、バス単価増のため、増額</li> <li>・平成31年度は、バス定員見直しのため、減額</li> <li>・令和2年度は、利用ニーズによりバス運行回数増便</li> </ul>										
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	送迎バス利用者数	(目標) (432)	(432)	(256)	(256)	(256)	(256)	(256)	バス定員×0.8×バス運行台数			
		実績 234	295	180								
活動指標	送迎バス運行台数	(目標) (12)	(12)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	運行台数14台/年			
		実績 9	11	10								
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽堂行き 4回運行 利用者数86人 (R1)</li> <li>・文化施設行 6回運行 利用者数94人 (R1)</li> </ul>								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

# 日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 楽しみを広げる ] 政策 [ 文化・スポーツがふくい の活力 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]												
<p>全国で唯一、戦国期の城下町跡がそのまま残る他に類例のない一乗谷朝倉氏遺跡のガイダンス施設として、北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、遺跡の価値や魅力を国内外に強力に発信し観光誘客につなげるため、新たな博物館を整備する（令和4年10月頃開館予定）。</p>												
[事業目的]												
<p>全国の中世都市遺跡研究の拠点、遺跡観光のゲートウェイとなる博物館の整備などを推め、遺跡全体のレベルアップを図る。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「展示・ガイダンス棟」の建築・展示工事等（令和元～3年度）</li> <li>・建設予定地周辺の土木工事（平成30～令和4年度）</li> <li>・駐車場用地取得（令和2～）</li> <li>・「調査・研究、収蔵棟」改修（令和2～3年度）</li> </ul> <p>(2) 開館に向けた整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備品等の整備（令和3～4年度）</li> <li>・収蔵資料の再配置（令和3～4年度）</li> </ul>												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 88,460人（令和元年度実績）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業 (役割分担) ・一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業 遺跡内アクセス環境の向上や案内・サービスの充実を図る取り組みを実施					
市町との連携状況	・建設予定地周辺の土木工事について、福井市から負担金を受け入れ ・博物館の運営体制を含めた遺跡の観光活用事業等について、福井市と協議を実施					他県の状況						

## 日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,103,173	235,058	2,509,000		359,115	国庫：歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業費国庫補助 起債：地域活性化事業債、公共事業等債、行革債						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		199,780	195,654	152,922	1,333,753	3,103,173	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築工事、展示工事の増額</li> <li>・ 「調査・研究、収蔵棟」の改修工事の実施による増額</li> <li>・ 開館にむけた備品購入による増額</li> </ul>					
2月現計予算額の推移		199,780	189,547	152,922	1,332,471							
決算額の推移		197,659	186,392	149,342								
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 28年度は、「展示・ガイダンス棟」の展示基本設計を実施</li> <li>・ 29年度は、「展示・ガイダンス棟」の建築基本設計、展示実施設計（その①）、博物館周辺を含む全体設計を実施</li> <li>・ 30年度は、「展示・ガイダンス棟」の建築実施設計、展示実施設計（その②）、建設予定地周辺の土木工事を実施</li> <li>・ 元年度は、「展示・ガイダンス棟」の建築工事、展示工事、建設予定地周辺の土木工事を実施</li> <li>・ 2年度は、「展示・ガイダンス棟」の建築工事、展示工事、建設予定地周辺の土木工事、「調査・研究、収蔵棟」（現資料館の改修）の設計を実施</li> </ul>											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡資料館 来館者数	(目標) 実績	(60,000) 56,843	(60,000) 64,718	(70,000) 88,460	(90,000)	(45,000)	(200,000)	(200,000)	現資料館来館者数 前年度以上 新博物館来館者数 20万人/年		
活動指標	指導実施日数	(目標) 実績			(15) 16	(15)	(15)	—	—	専門家からの指導：15回以上/年		
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「展示・ガイダンス棟」建築工事および展示工事を進行 (R2)</li> <li>・ 建設予定地周辺の土木工事を実施 (R2)</li> <li>・ 「調査・研究、収蔵棟」（現資料館の改修）の設計を実施 (R2)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築工事、展示工事を完了にむけて予算を増額して実施する</li> <li>・ 「調査・研究、収蔵棟」の改修工事を実施する</li> <li>・ 開館にむけた準備として備品を購入する</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H16 年度 経過年数 18 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	負担金										
補助率											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 楽しみを広げる ] 政策 [ 文化・スポーツがふくいの活力 ]				関連する県の計画等		[ ]				
[解決すべき問題・課題] ・戦国期体験メニューの常時提供、AR等デジタル技術の導入 ・山城見学環境の改善 ・遺跡案内ガイドの養成、配置等の整理											
[事業目的] 北陸新幹線福井延伸や東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、日本で唯一戦国城下町の遺構が手つかずのまま残る「特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡」を積極的に活用し、国内外への発信の強化、案内サービスの一層の充実を図ることで、遺跡への誘客を促進する。											
[事業内容] (1) 山城の観光活用 ・山城案内ボランティアの養成・活動経費  (2) 山城を含めた遺跡内アクセス環境の向上 ・山城登山道アクセス環境の整備 ・遺跡内無料周遊バス「朝倉ゆめまる号」の運行 ・山城案内ボランティアの養成  (3) 案内・サービスの充実 ・来訪者のスマートフォンやタブレット端末などを使った案内 ・遺跡内案内ボランティアなどによる案内サービスの充実  (4) 戦国城下町生活再現の実施											
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 1,056,679人(令和元年度実績)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業 (役割分担) 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業では、魅力発信強化のための活動を持続的に行っているが、一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備事業では、新博物館開館や北陸新幹線福井開通に向け、令和2年度～6年度の5年間にわたり、受入環境整備を強化して行う。			
市町との連携状況	・県と福井市が一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会の構成員となっており、協働して実施。					他県の状況					

# 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H16 年度 経過年数 18 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度	
事業実施方法	負担金											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,000				7,000							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		7,000	7,000	7,000	7,000	7,000						
2月現計予算額の推移		7,000	7,000	7,000	7,000							
決算額の推移		7,000	7,000	7,000								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者 (目標)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	遺跡来訪者数100万人を目指す			
	実績	803,100	722,200	1,056,679								
活動指標	案内ボランティア活動人数 (目標)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	案内ボランティア登録20人			
	実績	22	22	22								
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
・22人のボランティア登録を維持し、休日に2~3人の遺跡案内ボランティアを配置(R1) ・一乗谷朝倉氏遺跡の来訪者1,056,679人(R1)								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# 一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立に向けた連携研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ ] 政策 [ ]				関連する県の計画等		[ 福井県観光新戦略 ]					
[解決すべき問題・課題]												
令和元年12月に締結した国立文化財機構奈良文化財研究所との協定に基づき連携研究を実施し、劣化の進む一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術を確立することにより、遺跡を確実に保存し、露出展示を続けていく必要がある。												
[事業目的]												
特別史跡・特別名勝である一乗谷朝倉氏遺跡を永続的に保存・活用し続け、さらには全国の史跡・名勝等の保存・活用に貢献する。												
[事業内容]												
<p>独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所との共同研究協定締結し、保存技術の確立を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良文化財研究所の研究員等からの指導</li> <li>・解析用データの取得（水位変動、気象観測、石材強度、石材硬度等）</li> </ul>												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 1,057,000人（令和元年度実績）						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業 （実績） （～H31） ・気象観測等データ取得 ・劣化状況記録					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）				
市町との連携状況						他県の状況						

# 一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立に向けた連携研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	21,883	10,941			10,942	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					17,178	21,883	R3年度より本格的な調査・研究に伴う備品費の増、奈文研職員の来訪頻度が増えるため。					
2月現計予算額の推移					16,289							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者数 (目標) 実績				(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	遺跡来訪者数100万人			
活動指標	調査項目数 (目標) 実績				(8)	(8)	(8)	(8)	調査項目数：8項目/年			
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
・解析用データ（水位変動、気象観測、石材強度・硬度等）の取得を進めた。				・奈良文化財研究所職員が駐在し、これまで取得したデータを基に保存技術の確立のための本格的な調査を開始する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# 一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体		一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け		分野	[ 楽しみを広げる ]		関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内外の観光客に対する受入環境が不十分である。</li> <li>・ 来訪者の周遊動線を意識しながら、遺跡の通信環境を改善し、案内ツールに最新のデジタル技術を導入することによって観光地としての受け入れ環境を整備する。</li> </ul>												
[事業目的]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年5月、国において、博物館等文化施設を中核に周辺地域の観光を推進する「文化観光推進法」が施行</li> <li>・ 併せて創設された国の補助を活用して朝倉氏遺跡の受入環境を整備、誘客を拡大</li> </ul>												
[事業内容]												
<p>(1) 遺跡内の無料Wi-Fi整備（5G、全キャリア対応型） 来訪者がスマホによる情報取得・SNS利用等を円滑に行える環境を整備。若者や外国人の利便性を向上 〔整備エリア・年次〕 R2：復原町並、唐門周辺地区 R3：特別名勝庭園、平面復原地区 R5～6：エリア拡大を検討</p> <p>(2) 最新技術による遺跡案内 AR等を導入することにより、歴史知識のない来訪者も魅力を体感できる環境を整備。来訪者層を若い層に拡大 〔事業計画・年次〕 R2：導入計画 R3～4：AR等制作</p> <p>(3) 交通手段魅力向上 周遊バスのリニューアルをすることによって、交通機関利用者の満足度向上を目指す 〔事業計画・年次〕 R3：ゆめまる号リニューアル R4：博物館～遺跡ツアーバス導入、山城バスラッピング</p> <p>(4) 滞在時間延長 体験メニュー提供対応用に施設改修や福井市全体を周遊してもらえるような割引クーポンの開発を行う 〔事業計画・年次〕 R3：体験用施設改修 R4～R6：割引クーポン開発</p>												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業 (役割分担) 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業では、魅力発信強化のための活動を持続的に行っているが、一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備事業では、新博物館開館や北陸新幹線福井開通に向け、令和2年度～6年度の5年間にわたり、受入環境整備を強化して行う。						
市町との連携状況	県と福井市が一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会の構成員となっており、協働して実施。					他県の状況						

# 一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,000				10,000							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		-	-	-		10,000	R3年度から新たに下記の事業を実施 ・AR等最新技術の製作 ・遺跡内周遊バスリニューアル ・体験用施設の改修					
2月現計予算額の推移		-	-	-	2,984							
決算額の推移		-	-	-								
前年度までの 主な増減理由		・R2年度9月補正予算により、無料Wi-Fi整備、AR等導入計画策定を実施										
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者数 (目標) 実績				(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	遺跡来訪者数100万人を目指す			
活動指標	観光団体、地元団体、関係事業者等との協議回数 (目標) 実績				(5)	(10)	(10)	(10)	協議回数10回を目指す			
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## ふくい県民総合文化祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県内芸術文化活動団体				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ ] 政策 [ ]				関連する県の計画等		[ ]					
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>芸術文化活動に取り組む団体の高齢化が進み、後継者がいないため活動休止となる団体が増加 県民が芸術文化活動に参加し、ふくいの芸術文化活動の継承と芸術文化の発展につなげるため、参加型の芸術文化フェスティバルを開催する芸術文化団体の活動を支援する必要がある</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>県民一人ひとりの積極的な参加により、多様な文化の発表、活動、交流、観賞を行う「参加型」のフェスティバルを県内各地で開催し、多くの県民に身近にふくいの芸術文化に親しむ機会を提供する。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>「ふれあいフェスティバル」の開催 「福井県総合美術展」および「福井県音楽コンクール」をメインフェスティバルとし、各分野において県域で活動する団体が行う発表、活動、交流等に要する事業費に対し補助</p> <p>①補助対象者 県域で活動する芸術文化活動団 ②補助対象となる分野 吹奏楽、オーケストラ、マ칭バンド・バトントリング、合唱、オペラ、邦楽、太鼓、大正琴、演劇、人形劇、洋舞、日本舞踊、能楽、民謡民舞、吟詠剣詩舞、茶道、華道、生活文化、美術、文芸、民俗芸能 ③補助率 1/2以内</p>												
[受益者] 芸術文化活動団体および各種分野の発表会、体験教室に参加する県民						[想定される受益者数] 25,946人 (R元年度実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 芸術団体文化活動活性化事業、芸術文化活動推進事業 (役割分担) ・芸術団体文化活動活性化事業 (一社) 福井県文化協議会とその会員団体が共催する事業への補助 ・芸術文化活動推進事業 県内の芸術団体の実施する次世代育成などに寄与する文化活動への補助					
市町との連携状況	—				他県の状況		【石川県】 ・文化活動支援事業 (いしかわ県民文化振興基金) 文化活動団体への助成  【富山県】 ・富山県芸術文化振興基金事業 文化活動団体への助成					

## ふくい県民総合文化祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治					
事業主体	県内芸術文化活動団体				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	H18 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	1/2															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	8,100				8,100											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		11,400	10,100	9,000	8,100	8,100										
2月現計予算額の推移		10,634	10,100	9,000	3,092											
決算額の推移		10,204	10,047	9,330												
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・29年度は、広報経費758千円を廃止</li> <li>・30年度、令和元年度に補助事業実施団体数の見直し</li> </ul>														
[成果指標等の推移]																
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	参加人数（観客者数含む）	(目標) (26,000)	(26,000)	(26,000)	(26,000)	(26,000)	(30,000)	(35,000)	ふれあいフェスティバル参加人数26,000人							
		実績 23,495	21,390	25,946												
活動指標	助成団体数	(目標) (23)	(23)	(23)	(23)	(23)			助成23団体/年							
		実績 25	24	25												
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価								
・市町や文化団体へ周知した結果、活動目標は達成				引き続き、文化団体への支援を通して、県民が文化活動に親しむ機会を提供する				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

## ふくい文化の担い手育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ ] 政策 [ ]				関連する県の計画等		[ ]								
[解決すべき問題・課題]															
[事業目的] 音楽堂や美術館、博物館などの文化施設を利用し、子どもの文化に触れる機会を増やすとともに、一流のアーティストの指導を受ける場を提供し、福井の文化の担い手を育成する。															
[事業内容]  (1) 子どものための音楽鑑賞推進事業 ①出張音楽堂…中学校等に福井ゆかりの音楽家を派遣して行う室内楽コンサート ②ふれあい文化子どもスクール…全ての小学5年生を対象としたプロのオーケストラの鑑賞と美術館企画展等の一流芸術の鑑賞 ③ふるさと子どもコンサート…幼児・小学校低学年の生徒を対象とした、地域の演奏家等による親しみやすいコンサート (2) 若手アーティスト育成事業 ①ヤングアートキャンプ…中・高校生の文化部の生徒を対象として一流の芸術家が指導（美術分野については日本画を含む） (3) 博学連携「スクールミュージアム」 ①キッズミュージアム…美術館・博物館で子どもが創作したり、体験したりしながら学ぶ (4) 未来の音楽人材育成事業 ①一流の講師による講習会の開催等を通して、音楽家を志す学生と指導者とのマッチング等を支援															
[受益者] 幼児、小学生、中学生、高校生						[想定される受益者数] 80,196人 (H30年度実績)									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 子どものための文化芸術促進事業 (実績) ・公立文化施設等で伝統芸能、室内楽、合唱等を鑑賞する「芸術鑑賞教室」 ・子どもの日頃の文化活動の成果を発表する「子ども文化祭」等					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	・出張音楽堂、ふれあい文化子どもスクール実施の際には、市町教育委員会が各学校と日程調整等の実務を担当 ・ふるさと子どもコンサートは、市町と共催で実施					他県の状況									

## ふくい文化の担い手育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	50,300					50,300						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	52,021	49,436	50,271	49,821	50,300							
2月現計予算額の推移	52,021	49,436	50,271	28,306								
決算額の推移	51,334	49,351	50,047									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 28年度は、出張音楽堂開催事業の実施回数増</li> <li>・ 29年度より、ヤングアートキャンプの実施回数減</li> <li>・ 30年度は、ふくい天心美術塾、出張音楽堂の実施回数減による減額</li> <li>・ R1年度より、税率変更による増額</li> <li>・ R2年度は、出張音楽堂の実施回数減による減額</li> </ul>											
[成果指標等の推移]												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	一流の芸術・文化を体験した子どもの数 (目標)	(32,000)	(32,000)	(32,000)	(32,000)	(32,000)	(32,000)	(32,000)	3年間ですべての中学校(92校)で開催			
	実績	32,434	26,489	32,235								
活動指標	出張音楽堂開催回数 (目標)	(40)	(31)	(31)	(30)	(30)	(30)	(30)				
	実績	31	31	31								
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
・ 32,235人の子どもが一流の芸術・文化を体験 (R1)				・ 新型コロナ対策を講じた上で実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 「かるた王国福井」発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度						
事業実施方法	直営、負担金																	
補助率	—																	
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化・スポーツがふくいの活力 ]				関連する県の計画等		[ ]										
[解決すべき問題・課題]																		
[事業目的]  トップレベルの選手を多数輩出している本県を「かるた王国福井」として全国に発信する。																		
[事業内容] (1) 「競技かるた全国女流選手権大会」(全日本かるた協会主催)への後援 ・開催日: 5月~6月(予定) 会場: あわら市「あわら清風荘」 ・知事賞等授与、優勝・準優勝者に記念品授与 (2) 「2020インターナショナル小倉百人一首かるたフェスティバル競技かるた」への共催 ・開催日: 5月~6月(予定) 会場: あわら市「あわら清風荘」ほか ・国内留学生選手を招待した交流試合 ・「かるた王国福井」PRパネル展開催、本県特産品の物販 ・試合終了後のエクスカッション実施(永平寺座禅体験、越前和紙漉き体験など) ・県内トップ選手の模擬試合、海外招待選手との交流試合の県共催実施(想定会場: 永平寺町「四季の森文化館」) 本県強豪選手 川崎元名人、三好八段の模擬試合 外国人招待選手と福井県渚会との交流試合 他																		
[受益者]						[想定される受益者数]												
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)											
市町との連携状況	・競技かるた大会の開催をあわら市も支援					他県の状況												

# 「かるた王国福井」発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治		
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度	
事業実施方法	直営、負担金									事業 区分			R2 年度
補助率	-												R2 年度
事業費	1,149	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,149												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				1,149	1,149								
2月現計予算額の推移				0									
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	大会参加者 (目標)			(0)	(330)			全国競技かるた女流選手権大会 330人					
	実績			0									
活動指標	大会開催数 (目標)			(0)	(2)			大会開催数：2回					
	実績			0									
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
R2に予定されていた大会が、新型コロナにより次年度以降に延期				新型コロナ対策を講じた上で、R3に実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 芸術文化を感じる街ふくい創出事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課		課長名	竹内 宏治			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化・スポーツがふくいの活力 ]				関連する県の計画等		[ ]								
[解決すべき問題・課題]															
<p>これまでの芸術文化活動は、主にホールなど施設の中で発表・鑑賞されており、広く一般の県民の鑑賞機会が少なかった。そこで、芸術文化に馴染みのない県民にも芸術文化に親しむことができる環境をつくる必要がある。</p>															
[事業目的]															
<p>まちかどミニコンサートを実施することより、普段の生活の中で文化を感じられる環境づくりを推進する。また、本格的なオーケストラコンサートを鑑賞する機会の少ない嶺南地域においてプロオーケストラによる公演や美術作品の展示を実施し、芸術文化の鑑賞機会を提供する。</p>															
[事業内容]															
<p>(1) 駅などのオープンスペースにおいて、県内ゆかりのアーティストによるまちかどミニコンサートの開催（各市町1回/年、無料）          会場：各市町の駅や公園 等          音楽の祭日（6月21日：夏至の日）に、ハピテラスにおいてミニコンサートの実施</p> <p>(2) 嶺南の文化施設においてオーケストラコンサートの開催および美術作品の展示（2回/年、有料）          会場：令和2年度…敦賀市、若狭町          令和3年度…美浜町、高浜町          令和4年度…小浜市、おおい町          コンサートにあわせ、優れた美術作品の展覧会を開催</p>															
[受益者] 嶺南地域および嶺北周縁地域の県民						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	・実施地域の市町の共催、広報紙での広告					他県の状況									

## 芸術文化を感じる街ふくい創出事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R4 年度	
事業実施方法	直営									R2 年度			経過年数
補助率	-									2 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	42,186			(諸) 10,395	31,791	(一財) 地域創造助成金10,000千円、入場料395千円							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				43,935	42,186								
2月現計予算額の推移				43,935									
決算額の推移													
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	参加アーティスト数 (目標)	-	-	-	(34)	(36)	(36)	(36)	まちかどコンサート：34人 オーケストラコンサート：2楽団				
活動指標	コンサート実施数 (回) (目標)	-	-	-	(32)	(36)	(36)	(36)	まちなかコンサート：17回/年 オーケストラコンサート：2回/年				
実績				36									
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
-								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## まちかど幸福ピアノ設置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化・スポーツがふくい の活力 ]				関連する県の計画等	[ ]						
[解決すべき問題・課題]												
街の中に芸術文化に触れる空間が少なく、文化活動の練習や発表の場を創出することが必要となっている。												
[事業目的]												
学校等で使われなくなったピアノを、えちぜん鉄道福井駅待合室に、誰でも、自由に、いつでも弾くことができる「まちかど幸福ピアノ」として設置し、演奏者も聴く人も駅に降り立った瞬間から文化の香りを実感できるような空間を創出する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの維持管理</li> <li style="padding-left: 20px;">調律(夏、冬)</li> <li style="padding-left: 20px;">外装クリーニング</li> </ul>												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 722,200人 (H30年度実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## まちかど幸福ピアノ設置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	254				254							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		—	—	—	506	254	ピアノ設置数の減による減額					
2月現計予算額の推移					506							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ピアノの利用日数 (目標) 実績	—	—	—	(365)	(365)	(365)	(365)	1日1回以上利用されることを目標			
活動指標	ピアノの調律回数 (目標) 実績	—	—	—	(2)	(2)	(2)	(2)				夏と冬にピアノの調律を実施
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
1日あたり20件程度ピアノが利用され、県民に親しまれている。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 若手アーティスト活動支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政 策 [ 12 文化・スポーツがふくい の活力 ]				関連する県の計画等		[ ]							
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>芸術文化が豊かな生活や地域づくりに必要不可欠と認識されているが、広く一般に浸透していないため、様々な芸術文化を横断的に支援し、活動を応援することが必要となっている。</p>														
<p>[事業目的]</p> <p>若手アーティストの活動を支援することにより、芸術文化を通じた豊かな地域づくりを進める。</p>														
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 若手アーティストの作品展示によるまちなかのギャラリー化 [935千円] (R2～4年度)                      レストラン等オーナーの協力により店舗内で展示・販売。参加店舗・アーティストは公募                      [参加店舗] R4年度～ 100店舗                      [参加アーティスト] 30人                      [仕組み]                      ・作品は購入可とし、ファン拡大と創作資金を応援。民間(マスコミ等)の参画を求め、タイアップ記事掲載などの協力を得る。                      ・協議会は、登録料(1,000円)と作品売買手数料(売上の3割)を徴収し、自立化を図る。</p> <p>(2) 人材育成事業[400千円]                      民間が主体となってアートを様々な世代や立場の人とつなげるアート・コミュニケータを養成する。</p>														
[受益者] 県内の文化活動団体等						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

## 若手アーティスト活動支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,335			(諸) 400	935	(一財) 地域創造助成金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		—	—	—	—	1,335								
2月現計予算額の推移					5,530									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	若者グループ登録数 (目標) 実績	—	—	—	(4)	(10)	(16)	(30)	文化活動を行う若者グループ数					
活動指標	事業実施数 (目標) 実績	—	—	—	(2)	(2)	(2)	(2)	まちなかのギャラリー化、人材育成					
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福井市、越前市のレストラン等において若手作家の作品を展示</li> <li>・ 文化芸術情報を収集・発信するポータルサイトを開設</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポータルサイト制作完了に伴う減</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 音楽を活用した街づくり推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化・スポーツがふくい の活力 ]				関連する県の計画等		[ ]							
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>これまでの芸術文化活動は、ホールなど施設の中での発表・鑑賞が中心であり、広く一般に享受されてこなかった。音楽を活用したコミュニティを形成することにより、芸術文化に親しむ環境が必要となっている。</p>														
<p>[事業目的]</p> <p>株式会社ヤマハミュージックジャパンが実施する音楽の街づくり「おとまち」のノウハウの提供や運営協力を得ながら、まちなかでいつでも音楽が聞こえるまちづくりを推進する。</p>														
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 音楽サークルづくりや発表に対する支援  <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に興味のある若い世代のアマチュアプレイヤーの掘り起こし</li> <li>・掘り起こしたアマチュアを(3)へつなげるほか、身近なグループづくりを支援</li> </ul> </p> <p>(2) 幅広い世代が気軽に参加できる楽器体験会の開催  <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人、学生バンド等のアマチュアが集う発表会や、それに合わせた楽器体験会を開催し、(3)へ誘導</li> </ul> </p> <p>(3) 音楽サークルの運営支援  <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民交流やホール利用促進のため、意欲あるホール運営者による住民公募の楽団・バンドを設立(市町が実施)</li> <li>・各楽団は市町ホールにおいて日々の練習を実施、発表会を開催。他市町の希望者受入れ</li> <li>・参加者に対する無償楽器貸与、指導者派遣等による楽団等の運営支援</li> </ul> </p>														
[受益者] 県内の文化活動団体等						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 芸術文化活動推進事業 (役割分担) ・芸術文化活動推進事業 県内の芸術団体の実施する国内外の団体等との交流促進事業等への補助							
市町との連携状況						他県の状況								

## 音楽を活用した街づくり推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			1 年
補助率															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	21,000				21,000										
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>															
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移		-	-	-	-	21,000									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	サークル参加者数 (目標) 実績	-	-	-	-	(50)	(50)	(50)	10人/サークル						
活動指標	団体設立数 (目標) 実績	-	-	-	-	(5)	(5)	(5)	アマチュア音楽サークルの設立 (5市町)						
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価							
-								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## まちかどヤング・アート・カレッジ開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化・スポーツがふくい の活力 ]				関連する県の計画等	[ ]						
[解決すべき問題・課題]												
街の中に美術作品などのアートに触れる空間が少なく、気軽にアートに出合える場が必要となっている。												
[事業目的]												
学生が制作する作品を商店街の営業店舗、空き店舗、空き家などに展示したり、店舗そのものを装飾デザインしたりすることにより、街にアートがあふれる空間を創出する。												
[事業内容]												
<p>(1) 芸術系学部の学生による作品プランニング (R3) ※福井工大工学部・デザイン学科、仁愛女子短期大学・デザイン学科、近県芸術大学の学生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アート作品を展示可能な営業店舗の募集・選定 (10店舗以上または店舗・空き家を1軒丸ごと貸切りギャラリー化)</li> <li>・学生による営業店舗の内覧</li> <li>・店舗の要望やイメージにあう作品のプランニング (指導教官、外部講師による指導)</li> <li style="padding-left: 20px;">(作品展示場所) 田原町商店街等の店舗 (想定)</li> </ul> <p>(2) 学生による作品制作・設置・公開 (R4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生による作品制作・設置 (指導教官、外部講師による指導)</li> <li>・店舗と作品の撮影</li> <li>・アート作品を巡る散策マップの作成・配布</li> </ul>												
[受益者] 県内外の観光客および店舗等						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## まちかどヤング・アート・カレッジ開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	320				320							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					320	320						
2月現計予算額の推移					0							
決算額の推移					0							
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	作品のプランニング数 (目標) 実績				(10)	(10)	-	-	1会場あたり10プランを作成			
活動指標	研修・ワークショップの 開催 (目標) 実績				(2)	(2)	-	-	1会場でのイベントに合わせた研修会・ワークショップを2回以上実施			
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
R2に予定されていた学生を交えた計画作成が、コロナ禍によって実施不可能となりR2に計画作成することを取りやめ				新型コロナ対策を講じた上で、R3に実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 「こみっくまつり」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治								
事業主体		実行委員会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度							
事業実施方法		負担金																	
補助率		—											□ 法定受託事務	■ その他	R2 年度	2 年			
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化・スポーツがふくいの活力 ]				関連する県の計画等													
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>同人誌の販売やコスプレを通して福井の若者文化を県外に発信している団体は、資金不足、人材不足により、小規模な活動に留まっている 同様なイベントは都市部での開催は多いが、北陸3県では年間2、3回しか開催されていないことから、福井を北陸の聖地にするべく、若者・よそ者が集まる芸術文化活動を応援する必要がある</p>																			
<p>[事業目的]</p> <p>同人誌の販売やコスプレを通して福井の若者文化を県外にPRしている団体を支援し規模拡大することにより、北陸・近畿圏との交流人口の拡大と、若者文化による街のにぎわい創出につなげる。</p>																			
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 同人誌即売会を嚮陽会館において実施 (R3～R5) ※R2年度は新型コロナのため中止          ・入場者 500人 (10代後半～30代前半)          ・出展ブース 50ブース (最大50団体参加)          ・内容 同人誌即売会、コスプレ撮影会 ※ 新型コロナ対策を講じた上で、開催</p> <p>(2) 北陸三県の同人誌販売団体が個別に実施している販売会をサンドーム福井で合同開催 (R5)          ※スタッフの育成期間を確保するため、サンドーム福井での開催をR5年度に1年延期</p>																			
[受益者] 北陸・近畿圏の観光客						[想定される受益者数] 約10,000人													
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)		関連事業の有無・ 役割分担			<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)												
市町との連携状況		—		他県の状況															

# 「こみっくまつり」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	実行委員会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	760				760							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		-	-	-	524	760	年2回の開催することによる増額					
2月現計予算額の推移					0							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	入場者数 (目標) 実績	-	-	-	(500)	(1,000)	(1,400)	(5,000)	年間入場者数 (500人/回)			
活動指標	開催回数 (目標) 実績				(1)	(2)	(2)	(1)				イベント開催数/年
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
新型コロナの状況を鑑み、令和2年度は開催中止				感染防止対策を講じた上で、R5年度のサンドーム福井での開催を目標に、広報活動およびスタッフ育成に取り組む				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

## 大河ドラマ「青天を衝け」情報発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 文化・スポーツがふくいの活力 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]												
2021年大河ドラマ「青天を衝け」では、水戸天狗党が取り上げられるが、本県とのゆかりについてあまり知られていない。												
[事業目的]												
2021年大河ドラマ「青天を衝け」の放送に合わせ、水戸天狗党と本県の関係を発信し、観光誘客につなげる。												
[事業内容]												
(1) ゆかりの地を巡るリーフレットの製作 (2) 簡易な説明板の製作												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 18,095,000人(令和元年度実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

# 大河ドラマ「青天を衝け」情報発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開 始 年 度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,573	786			787	地方創生推進交付金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						1,573						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県内外のメディア露出数 (目標) 実績					(5)	—	—	県内外の雑誌、新聞等のメディアに取り上げられることを目指す			
活動指標	リーフレット配布数 (目標) 実績					(50,000)	—	—	リーフレット配布数			
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 日露交歓コンサート開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ ] 政策 [ ]				関連する県の計画等		[ ]					
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>国際的に一流のアーティストを招聘する場合、採算が合わないことから、地方都市での開催は不可能とされている 特に嶺南地域では、海外アーティストによるクラシックコンサートの開催が少ないため、より多くの県民に一流の音楽に親しむ機会を提供する必要がある</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>公益社団法人国際音楽交流協会と共催で、ロシアの「チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院」のメンバーをはじめとする国際的な音楽家によるクラシックコンサート等を開催し、より多くの県民に一流の音楽に親しむ機会を提供する。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>(1) コンサート (全2回)            内 容 : ヴァイオリン・チェロ・ピアノ・バラライカ・声楽等による、親しみやすい曲目によるコンサート。ロシアや日本の民謡なども取り上げる。            入 場 料 : 500円 (大学生以上)            開催日・開催場所 : ① 9月22日 (水) 夜 敦賀市民文化センター 大ホール (敦賀市)                                      ② 9月23日 (木・祝) 昼 福井県立音楽堂 大ホール (福井市)</p> <p>(2) 関連イベント 弦楽器クリニック            内 容 : 県内で弦楽器を学ぶ子どもたちを対象に、「弦楽器クリニック」を開催。指導・助言を行う。            開催日 : 9月23日 (木・祝) 夕方            開催場所 : 福井県立音楽堂 小ホール</p>												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	協会に支払う共催負担金2,000千円のうち、1,000千円を敦賀市が負担					他県の状況	【石川県】 開催実績3回、3公演 2020年度開催中止  【富山県】 開催実績6回、7公演					

# 日露交歓コンサート開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度		
事業実施方法	直営、負担金					□ 法定受託事務			□ 補助金						■ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	6,664			1,511	5,153	敦賀市負担金1,000千円、入場料収入511千円										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		-	-	-	-	6,664										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	来場者数 (目標) 実績	-	-	-	-	(1,300)	-	-	日露交歓コンサート来場者数 (1,300人)							
活動指標	公演回数 (目標) 実績	-	-	-	-	(2)	-	-	公演回数 (2回)							
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価								
-								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

# 日本遺産活性化推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体		福井・勝山日本遺産活用推進協議会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [ 3 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 12 文化・スポーツがふくいの活力 ]			関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]												
北陸新幹線開業に向け、日本遺産を活用した地域活性化や観光誘客を促進する必要がある。												
[事業目的]												
令和元年度の日本遺産への認定を受け、県・福井市・勝山市を主体とした日本遺産活用推進協議会に対する文化庁の補助事業を活用し、日本遺産を活用した地域活性化や観光誘客を推進する。												
[事業内容]												
文化庁の補助金（地域文化財総合活用推進事業等）を活用した、日本遺産の普及啓発や情報発信事業等												
<p><b>【令和3年度実施事業 事業費：8,401千円】</b></p> <p>(1) 日本遺産ブランド力強化のためのテレビ番組放送と動画制作（文化庁65%補助） 5,500千円            (国：3,575千円、県：963千円、福井市・勝山市：962千円)</p> <p>・世界遺産や日本遺産関連の旅番組を手掛けるTBSによる動画制作、番組放送枠購入（BS-TBS）、番組ダイジェスト版制作</p> <p>(2) 誘客の促進に効果のある観光素材写真の撮影およびポスター等の制作（文化庁65%補助） 2,365千円            (国：1,537千円、県：414千円、福井市・勝山市：414千円)</p> <p>・観光素材として訴求効果が高い構成文化財を10か所程度選定し、プロカメラマンによる写真撮影、ポスター等の制作</p> <p>(3) ホームページおよび日本遺産周遊ツールの保守管理 536千円（県：268千円、福井市・勝山市：268千円）</p> <p>・日本遺産ホームページ（R1制作）および日本遺産周遊ツール（R2制作）の保守管理</p> <p>(実施主体) 福井・勝山日本遺産活用推進協議会</p>												
[受益者] 国内外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいの日本遺産活用促進事業 (役割分担)  今回の事業は、新規で認定された「400年の歴史の扉を開ける旅～石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井～」を対象				
市町との連携状況	福井・勝山日本遺産活用推進協議会 ・設立総会（R1.8.29開催） ・総会（R2.3.31書面決議） ・総会（R2.7.29開催）					他県の状況						

# 日本遺産活性化推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治		
事業主体	福井・勝山日本遺産活用推進協議会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	—								<input checked="" type="checkbox"/> その他		3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,645				1,645								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				7,926	3,272	1,645	・事業計画に基づく事業費の減額						
2月現計予算額の推移				7,926	3,272								
決算額の推移				7,787									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	実人数把握可能な主要施設の入場者数 (目標) 実績	— —	— 330,031	(333,500) 375,438	(337,000)	(340,500)	(344,000)	(347,500)	実人数把握可能な主要施設の入場者数 H30⇒R6 5%増加 ※福井市(一乗谷朝倉氏遺跡復原町並、養浩館庭園、大安禅寺) 勝山市(平泉寺まほろば、ゆめおーれ勝山、勝山城博物館)				
活動指標	日本遺産ガイドの人数 (目標) 実績			(15) 21	(25)	(35)	(35)	(35)					
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
・福井・勝山日本遺産の構成文化財に設置する多言語音声ガイダンス機能付き案内板を整備				・テレビ番組の制作・放送や観光素材として訴求効果が高いポスターの制作を行い、日本遺産の普及啓発や情報発信を促進する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

# 一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S42 年度 経過年数 55 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 03 まちがイキイキ ] 政策 [ 01 北陸新幹線の最大活用を開業後も責任を持って構想し実行 ]				関連する県の計画等			[ 教育振興基本計画 ]				
[解決すべき問題・課題]												
<p>一乗谷朝倉氏遺跡は昭和42年以来継続して発掘調査を実施しており、調査結果に基づく整備事業において、広範囲で本物の遺構を露出展示するなど大きな成果をあげてきたが、遺跡全体で見れば未解明な点も多くあり、今後も継続して発掘調査・整備等を実施する必要がある。</p>												
[事業目的]												
<p>全国的にもまれな規模と内容をもつ戦国城下町である一乗谷朝倉氏遺跡について、「朝倉氏遺跡研究協議会」の指導のもと、その価値を高めるために発掘調査および環境整備を実施し、福井県民をはじめ全国から訪れる見学者のために、生きた歴史教育・生涯学習の場として活用される史跡公園の整備を目指す。</p>												
[事業内容]												
<p>「特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡発掘・整備基本計画」「特別名勝一乗谷朝倉氏庭園保存活用計画」に基づき、発掘調査および環境整備等をおこなう。</p> <p>○発掘調査事業・・・学術的な発掘調査を実施し、戦国城下町の人々の生活様式等を解明する。</p> <p>○復原整備事業・・・発掘調査成果を受けて、検出した遺構の保存を行いながら、当時の様子を復原する。</p> <p>○重要文化財保存修理事業・・・朝倉氏遺跡出土の重要文化財の保存修理を行う。</p>												
[受益者] 一般県民						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・発掘・環境整備は県が実施し、福井市が管理を行う。					他県の状況						

# 一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S42 年度 経過年数 55 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	97,590	48,767	22,000		26,823	国庫：国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 起債：公共事業等債、行革債						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		42,008	47,963	46,753	47,070	97,590	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西山光照寺跡整備工事費の増額</li> <li>・遺跡の再整備工事の開始による増額</li> </ul>					
2月現計予算額の推移		26,072	43,175	36,252	17,905							
決算額の推移		25,667	42,829	35,060								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究協議会にて策定された短期計画に基づき事業を実施</li> </ul>										
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	報告書刊行数	(目標)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	発掘・復元状況の報告書を発行			
		実績	1	1	1							
活動指標	発掘・復原面積	(目標)	(500)	(1,620)	(580)	(351)			研究協議会にて策定された短期計画に基づく			
		実績	0	1,690	500							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・斜面崩落部の発掘調査</li> <li>・西山光照寺跡整備工事</li> <li>・劣化対応調査</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期計画に基づき、事業実施</li> </ul>				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

## 歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S59 年度 経過年数 38 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 楽しみを広げる ] 政策 [ 文化・スポーツがふくい の活力 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]												
常設展示だけでは伝えきれない福井の歴史、民俗、文化について、県内外の他館の資料も用いながら来館者へわかりやすく伝える。												
[事業目的]												
資料収集、調査研究の成果をもとに展示、公開することで、福井県の歴史、民俗、文化を県民および県内外からの来館者へわかりやすく伝え、歴史文化への関心を高める。												
[事業内容]												
<p>(1) 企画展開催事業 夏季特別展「福井県野球物語ー甲子園をめざした高校球児たちー(仮)」 令和3年7月23日(金)～8月31日(火)            明治から平成にかけての高校野球を中心とする野球の歴史を紹介            秋季特別展「本願寺と四箇本山ーふくいの浄土真宗ー(仮)」 令和3年10月23日(土)～11月28日(日)            越前で独特の展開をした非本願寺系寺院に着目し、越前における蓮如以前の真宗の動向を紹介            フレキシブル展示            常設展示の定期的な入れ替えを実施</p> <p>(2) 企画展準備事業 令和4年度以降の企画展開催のための調査、資料借用のための交渉を実施</p>												
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 8,335人(令和元年度実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 歴史博物館資料収集事業、歴史博物館調査研究事業 (役割分担) ・歴史博物館資料収集事業 資料収集事業で収集した資料を企画展等で公開 ・歴史博物館調査研究事業 調査研究事業での成果を企画展等で公開					
市町との連携状況						他県の状況						

## 歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S59 年度 経過年数 38 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	15,311			(使・諸) 5,847	9,464	観覧料3,047千円、図録販賦料2,800千円						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		17,921	42,938	14,319	17,232	15,311	・実績に基づき印刷物経費等を減額					
2月現計予算額の推移		17,921	42,938	14,319	18,032							
決算額の推移		15,157	42,681	13,498								
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30年度 幕末明治福井150年博メイン会場の展示として実施</li> <li>・令和2年度 会計年度任用職員経費を政策推進Gで要求</li> </ul>											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展観覧者数	(目標) (8,500)	(15,000)	(8,500)	(8,500)	(9,000)	(9,000)	(9,000)	夏季特別展 5,000人 秋季特別展 4,000人			
		実績 4,446	13,920	8,335								
活動指標	企画展開催件数	(目標) (3)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)				
		実績 3	2	2	2							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家事・家電・家庭のうつりかわり」入館者5,716人 (R1)</li> <li>・「ふくい鎮守さま」入館者2,619人 (R1)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績に基づき印刷物経費等を減額した。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 若狭歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S57 年度 経過年数 40 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 楽しみを広げる ] 政策 [ 文化・スポーツがふくいの活力 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]												
常設展示だけでは伝えきれない福井県若狭地方の歴史、民俗、文化について、県内外の資料も用いながら来館者へわかりやすく伝える。												
[事業目的]												
調査研究の成果をもとに若狭地方の歴史・民俗・文化をわかりやすく公開・紹介することで、県内外からの来館者や地域の方々の歴史文化への関心を高める。												
[事業内容]												
<p>(1) 企画展開催事業 鳥浜貝塚発見60周年記念特別展「縄文の謎を追え！～埋もれた貝塚が語るもの～(仮)」 令和3年10月9日(土)～11月14日(日) 鳥浜貝塚を含む日本海側の湿地性貝塚遺跡を通して、近年の発見と研究の進展によって明らかとなった縄文時代のリアルな姿を紹介</p> <p>(2) 若狭のみほとけフレキシブル 仏像公開に特化した展示室において、継続して定期的に仏像の展示替えを実施</p>												
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 2,078人(令和元年度実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 若狭歴史博物館調査研究事業 (役割分担) ・若狭歴史博物館調査研究事業 研究事業での成果を企画展等で公開				
市町との連携状況						他県の状況						

## 若狭歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S57 年度 経過年数 40 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	11,970			(使・諸) 1,567	10,403	観覧料1,002千円、図録販賦料等565千円						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		12,812	12,386	17,871	13,684	11,970	・実績に基づき印刷物経費等を減額					
2月現計予算額の推移		10,466	12,386	13,552	12,154							
決算額の推移		10,245	8,875	12,907								
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・27年度は、若狭歴史博物館開館1周年記念特別展を開催</li> <li>・31年度は、リニューアル5周年記念特別展を開催</li> <li>・令和2年度からは、会計年度任用職員経費を政策推進Gで要求</li> </ul>											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展観覧者数 (目標)	(4,500)	(3,500)	(5,000)	(3,000)	(2,800)	(3,000)	(3,000)	「縄文の謎を追え！～埋もれた貝塚が語るもの～」 2,800人			
	実績	4,025	2,278	2,078								
活動指標	企画展開催件数 (目標)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	企画展1回開催			
	実績	1	1	1	1							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「海と山のうましもの～食がたなぐ若狭と都～」入館者2,078人 (R1)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績に基づき印刷物経費等を減額した。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 若狭歴史博物館嶺南美術展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	令和2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 楽しみを広げる(創造力) ] 政策 [ 文化・スポーツがふくい の活力 ]				関連する県の計画等							
[解決すべき問題・課題]												
嶺南地域には美術館がなく、嶺北と比べると、本物の美術に触れる機会が少ない。												
[事業目的]												
若狭歴史博物館において、美術館の企画展レベルの質の高い美術展を開催することで、本物の美術に触れる機会の拡大と嶺南への誘客促進を図る。												
[事業内容]												
嶺南美術展の開催 「夏休みは博物館で昆虫採集！—スカラベからフィギュアまで—」（仮称）												
<p>内 容 : 夏休み期間に、昆虫や動物、花など森にすむ生き物を形象化した作品を展示。博物館で昆虫採集、植物観察をするように楽しみながら鑑賞してもらう。</p> <p>開催期間 : 令和3年7月30日(金)～8月31日(火) 33日間</p> <p>会 場 : 若狭歴史博物館</p> <p>関連事業 : ギャラリートーク、グッズ販売</p>												
						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 嶺南企画展開催事業(美術館) (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

## 若狭歴史博物館嶺南美術展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	令和2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,541			(使) 2,365	8,176	観覧料2,365千円						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					9,551	10,541	・美術展の内容に基づく企画料の増額					
2月現計予算額の推移					9,551							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	美術展観覧者数 (目標) 実績				(4,750) 3,249	(4,750)	(4,750)	(4,750)	・ギャラリートーク ・ワークショップ ・嶺北からのバス運行			
活動指標	関連イベント等開催数 (目標) 実績				(3) 3	(3)	(3)	(3)				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「初公開 県立美術館ベストコレクション」入館者数 3,249人 (R2)</li> <li>・関連イベントとして、学芸員によるギャラリートークや子ども向けワークショップの開催、嶺北地域から嶺南地域の文化施設を巡るバス「れいなんアート号」の運行を実施</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術展のテーマに応じて事業費を増額して実施する。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 朝倉氏遺跡資料館レベルアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 楽しみを広げる ] 政策 [ 文化・スポーツがふくいの活力 ]				関連する県の計画等		[ ]					
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢の方や歴史好きな方など来館者の層に偏りがある。</li> <li>・ ガイドブックで分かりやすく資料館の魅力をアピールすることによって、若年層や歴史に興味がない方にも興味を持ってもらうようにする。</li> </ul>												
<p>[事業目的]</p> <p>朝倉氏遺跡資料館の情報を広く紹介する「ガイドブック」の発行や、豊富な出土資料に関する情報の公開とその価値の積極的なアピールにより、朝倉氏遺跡資料館への誘客を促進する。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 案内・サービスの充実 資料館に「展示解説ボランティア」を配置 土・日・祝日、ゴールデンウィークやお盆の期間（年間90日／人）</p> <p>(2) 資料館の魅力を広くアピール・誘客促進のためのガイドブックの発行 資料館が開催する企画展や逸品展、体験講座などの情報を県内外に広くアピールするガイドブックの発行（年1万5千部発行し、県外の主要なサービスエリア、県内主要な宿泊施設や道の駅等に設置）</p>												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 1,056,679人（R1年度実績）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 朝倉氏遺跡資料館レベルアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	297				297							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		1,164	1,164	1,042	938	297	・ガイドブック経費の削減					
2月現計予算額の推移		1,164	1,164	1,042	938							
決算額の推移		1,061	1,087	922								
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・29年度は、チラシ（展示解説ボランティア募集）作成を削減したため減額</li> <li>・30年度は、ガイドブックの発行を2回にしたため減額</li> </ul>											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	展示解説ボランティアの活動日数 (目標)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	展示解説ボランティア90日/年			
	実績	84	89	82								
活動指標	ボランティア研修開催数 (目標)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	ボランティア研修20回/年			
	実績	20	21	18								
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
ボランティア研修を18回開催 (R1) 展示解説ボランティアの活動日数82日 (R1)				・施設改修のための休館に伴い、ガイドブック経費を削減した。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 朝倉氏遺跡資料館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S61 年度 経過年数 36 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 楽しみを広げる ] 政策 [ 文化・スポーツがふくい の活力 ]				関連する県の計画等	[ ]						
[解決すべき問題・課題]												
常設展示だけでは伝えきれない一乗谷朝倉氏遺跡の魅力について、来館者へわかりやすく伝える。												
[事業目的]												
一乗谷朝倉氏遺跡の調査研究成果をもとに朝倉氏に関する歴史資料などを公開展示することで、県内外からの来館者の一乗谷朝倉氏遺跡への関心を高める。												
[事業内容]												
<p>(1) 特別公開展（年1回）の開催 特別史跡指定50周年記念展～休館直前特別公開展～「一乗谷の漆器と越前（仮）」 令和3年7月10日（土）～8月31日（火） 一乗谷朝倉氏遺跡出土漆塗り製品について、最新の研究成果として未公開資料を展示し、一乗谷の漆器文化について紹介</p> <p>(2) 公開講座、遺跡見学会等 体験および公開講座、展示説明会、遺跡見学会、山城見学会、庭園見学会の開催</p> <p>(3) サテライト展示の実施 令和3年9月からの休館期間中に遺跡現地等でのサテライト展示を実施</p>												
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 32,521人（令和元年度実績）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡調査研究事業 (役割分担) ・一乗谷朝倉氏遺跡資料館調査研究事業 調査研究事業での成果を企画展等で公開				
市町との連携状況						他県の状況						

## 朝倉氏遺跡資料館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S61 年度 経過年数 36 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	918				918							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		2,448	3,012	3,474	2,678	918	・施設改修のための休館により特別公開展開催数の減（4回→1回）					
2月現計予算額の推移		2,448	3,012	3,474	2,678							
決算額の推移		2,324	2,870	3,420								
前年度までの 主な増減理由	・令和2年度からは、会計年度任用職員経費を政策推進Gで要求											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	特別公開展等観覧者数 (目標) 実績	(24,000) 33,322	(32,736) 33,158	(30,576) 32,521	(35,524)	(7,696)	( — )	(200,000)	過去の特別公開展等1日平均観覧者数(実績)×本年度の特別公開展等開催日数 中間目標にあたるR4は一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)開館準備のため実施不可 最終目標は一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)の目標入館者数			
活動指標	未公開資料の公開件数 (目標) 実績	(500) 529	(500) 532	(500) 508	(500)	(500)	(500)	(500)	未公開資料の公開500点/年			
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間508点の newly 資料を展示 (R1)</li> <li>・特別公開展4回開催、観覧者32,521人 (R1)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設改修のための休館に伴い、特別公開展は回数を減らして開催</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）「展示・ガイダンス棟」管理費

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営			事業経過年数					1 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分 野 [ 楽しみを広げる ] 政 策 [ 文化・スポーツがふくいの活力 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]												
<p>全国で唯一、戦国期の城下町跡がそのまま残る他に類例のない一乗谷朝倉氏遺跡のガイダンス施設として、北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、遺跡の価値や魅力を国内外に強力に発信し観光誘客につなげるため、新たな博物館を整備する（令和4年10月頃開館予定）。</p>												
[事業目的]												
令和4年1月に引き渡される一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）「展示・ガイダンス棟」の維持管理を行う。												
[事業内容]												
<p>建築工事が完了し、県へ引き渡された後に必要となる管理費（令和4年度1月～3月の3か月分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示室、収蔵庫の有害ガスモニタリング経費</li> <li>・ 光熱水費</li> <li>・ 電話回線等初期費用</li> <li>・ 保守点検業務</li> <li>・ 管理業務                      他</li> </ul>												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有                      事業名 (実績)					<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有                      事業名                      日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業 (役割分担) ・ 日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業 日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業で整備した博物館の維持管理						
市町との連携状況						他県の状況						

## 一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）「展示・ガイダンス棟」管理費

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	12,381				12,381							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					12,381	一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）の令和4年1月～3月にかかる管理費						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	(目標) 実績							「展示・ガイダンス棟」の施設管理費であるため指標の設定は困難				
活動指標	(目標) 実績											
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 県立美術館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	福井県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	S52 年度 経過年数 45 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 楽しみを広げる ] 政策 [ 文化・スポーツがふくいの活力 ]				関連する県の計画等		[ ]					
[解決すべき問題・課題]												
<p style="text-align: center;">普段接することのできない美術作品の魅力を来館者へわかりやすく伝える。</p>												
[事業目的]												
<p style="text-align: center;">国内外の優れた美術品や県内の美術作品を公開・紹介することで、県民が一流の名品を鑑賞する機会を拡大する。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 企画展開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「近代日本絵画の至宝～ウッドワンコレクションより～（仮）」 令和3年4月23日（金）～5月30日（日） ウッドワン美術館の所蔵品によって日本の近代絵画を紹介</li> <li>② 「再興105回院展・福井展（仮）」 令和3年6月18日（金）～7月4日（日） 横山大観らが再興した日本美術院による日本画の公募展を福井で開催</li> <li>③ 「オードリースタイル展（仮）」 令和3年7月16日（金）～8月29日（日） 「ローマの休日」などで絶大な人気を得たオードリー・ヘプバーンに光をあてる展覧会</li> <li>④ 岐阜・福井連携事業「岐阜県美術館所蔵名品展（仮）」 令和3年9月18日（土）～11月3日（日） 岐阜県美術館が所蔵する安藤コレクションなどの現代アートの名品を紹介</li> </ul> <p>(3) 美術館魅力アップ事業 駐車場不足解消のため、繁忙日に歴史博物館の駐車場を利用したシャトルバスを運行</p> <p>(4) 企画展準備事業 令和4年度以降の企画展開催のための調査・資料借用交渉を実施</p>												
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 46,890人（令和元年度実績）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 美術館資料収集事業 (役割分担)  ・美術館資料収集事業 資料収集事業で収集した資料を企画展等で公開					
市町との連携状況						他県の状況						

## 県立美術館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	竹内 宏治	
事業主体	福井県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	S52 年度 経過年数 45 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	57,947			(使・諸) 46,332	11,615	観覧料 35,380千円、事業収入・図録販賦料等 10,952千円						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		119,398	64,880	62,291	74,743	57,947	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績に基づき印刷物経費等を減額</li> <li>・嶺南での企画展開催経費の減額（別途予算措置）</li> </ul>					
2月現計予算額の推移		65,980	59,047	61,387	74,743							
決算額の推移		62,669	58,841	59,287								
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・29年度は、開館40周年記念展として実施</li> <li>・令和2年度からは、会計年度任用職員経費を政策推進Gで要求</li> <li>・令和2年度は、嶺南で企画展を開催</li> </ul>											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展観覧者数	(目標) (97,350)	(101,810)	(68,000)	(43,250)	(48,880)	(48,880)	(48,880)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代日本画の至宝 15,680</li> <li>・岐阜県美術館所蔵名品展 12,050</li> <li>・再興105回院展 9,150</li> <li>・オーダリースタイル展 12,000</li> </ul>			
		実績 104,291	79,354	46,890								
活動指標	企画展開催件数	(目標) (3)	(3)	(2)	(4)	(4)	(4)	(4)				
		実績 3	3	2	4							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパークローン文化財展 入館者31,782人 (R1)</li> <li>・手塚雄二展（ブレ展・本展） 入館者15,108人 (R1)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績に基づき印刷物経費等を減額した。</li> <li>・嶺南での企画展経費は嶺南美術展開催事業として別途予算措置し実施する。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		